

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

MITSUI SEIKI インターモールド2021出展

プレジジョンセンタ PJ303X、ジグ研削盤 J350G 省エネ・高効率オイル式コンプレッサ ZV22AX-R

2021年4月14日(水)～17日(土)、東京ビックサイト・青海展示棟 出展小間番号：A-271

高精度金型づくりの 最新ソリューション提案

三井精機工業は、2021年4月14日(水)～17日(土)の4日間、東京ビックサイト・青海展示棟で開催されるインターモールド2021にリアル展示する。出展ブースは、青海展示棟、小間番号：A-271。

同展では、日本が追求する高品質金型に貢献する最新機種種のプレジジョンセンタ「PJ303X」及びジグ研削盤「J350G」2台を展示。高精度な金型づくりの最新ソリューションを実機と共に紹介する。

また、金型工場をはじめとする幅広いモノづくり現場のインフラとして不可欠なトップランナー規制対応モータを採用したインバータ制御の省エネ・高効率オイル式コンプレッサ「ZV22AX-R」も同時に展示する。

プレジジョンセンタ 最新機種 PJ303X

プレジジョンセンタ「PJ303X」は、『“精度の三井精機”が新たに創る機械は精密微細加工に革新をもたらします』をコンセプトに開発した新製品。熱変形による姿勢変化を考慮した左右対称門型コラム構造、直線軸は高速駆動リニアモータ、回転軸はDDモータを採用するなど、高剛性・高精度を両立した。

また、機内でのワークや工具の自動計測が選択でき、自動運転が可能など、高精度金型の生産性向上に貢献する。

高精度・高生産性 ジグ研削盤 J350G

一方、日本の金型づくりの競争力強化に欠かせない加工技術の一つとして重視されているのが研削加工に他な

らない。

三井精機工業の高精度ジグ研削盤「J350G」は、従来の砥石自動切込みストローク2mmに対し、同機は53mmに拡大。操作盤にはタッチパネル式15"LCDを採用したほか、先進的な安全カバーを標準化し、従来機に比べ設置スペースを半減。しかも、オプションでATCが選択でき、高能率な自動運転が可能など、優れたパフォーマンスを発揮する。

グローバルスタンダード コンプレッサ ZgaiardX

ZgaiardX”といえば、いまやコンプレッサのグローバルスタンダードとして、国内外で広く愛用されている。

用途に適した豊富な機種をラインナップし、幅広い産業分野の高い指示を得ている。

中でも展示会に出展するオイル式インバータコンプレッサ「ZV22AX-R」は、独自の圧縮機構を極限まで高め、



吐出空気量を増やし、トップランナー規制対応モータを採用し、高効率・省エネの両立を実現した。

タッチパネル式の画面で、吐出温度・吸気温度・ユーザー圧力・電力・電圧・タンク圧力・回転数などのサンプリングが可能など、“エアの見える化”を実現した。

日ごとに気温も上昇し、今年も酷暑が予測されている。

最新コンプレッサは省エネで安定した吐出空気量を供給するほか、デジタル化により管理もしやすくなっている。

インターモールド2021来場者は、事前登録を。

※三井精機工業
インターモールド2021案内状は↓
<http://www.mitsui-seiki.co.jp/>

